

# 理窓教育会報

第 46 号

平成 27 年 10 月 1 日

東京理科大学理窓教育会

事務局 PORTA 神楽坂 7 階

## 巻頭言『次期学習指導要領高校科目「数理探究」の新設を切望する』

東京理科大学理窓教育会会長 富岡 康夫 (48K)

平成 27 年度 SSH (スーパーサイエンスハイスクール) 生徒研究発表会は 8 月 5 日、6 日にインテックス大阪で開催されました。参加者は合計 4400 人、全 SSH 校 203 校の生徒 3000 人、海外招致校 26 校がポスターセッションで生徒が 256 のブースに別れて研究発表をしました。

開会の講演は、藤嶋昭学長が「研究は楽しい！！先人の科学者に学びつつ、身のまわり現象をヒントに新しい科学を作っていこうー光触媒で未来を開くー」をテーマにお話されました。ソメイヨシノの桜前線のお話から始まり、尊敬するマイケル・ファラディ先生のこと、最後の結びは「感動が一番、すべてを前向きに積極的に、明るく楽しく」とまさに生徒を魅了するお話でした。

午後は各ブースで生徒研究のポスターセッションの発表でした。私は生徒研究発表の審査という立場で参加しました。学会等のブースの中に、東京理科大学のブースが設置され、担当の方が「坊っちゃん科学賞」を熱心に PR していました。同窓の教員からも声をかけて頂きました。翌日は全体の生徒研究発表に 5 校が選ばれ、プレゼンテーションを行いました。文部科学大臣奨励賞は熊本県立宇土中学校・高等学校の「“副実像”の出現位置の数式化に成功」が選ばれました。レンズの作る像の中でレンズ内を全反射して出来る像を副実像と名付け出現位置を数式化するという教科書にも載っていない現象を扱ったものです。生徒が自ら課題を見つけて解決する見事な作品でした。

閉会の挨拶で川上伸昭文部科学省科学技術・学術政策局長は、5 日に公表した中央教育審議会による次期学習指導要領の答申素案では、高校の授業に、数学と理科を統合した「数理探究」を選択科目として新設する案が盛り込まれた。素案では「数理横断的なテーマに徹底的に向き合い考え抜く力を育成する」との目的が明記され、スーパーサイエンスハイスクール (SSH) での授業内容をモデルに、高度な思考力を培う試みとなりそうだとお話されました。

中央教育審議会の前会長安西祐一郎先生の講演の中でもこれからも重要視する教科の一つとして理数重視を挙げています。そして「生徒に主体的に学ばせるという授業手法は、その手法が学校ではほとんど生かされず課題となっている」とも述べておられます。いわゆるアクティブラーニングや協働学習等生徒の自発的・自主的な学習への意欲を高めていく重要性を指摘しています。

学校の理数教育で真正面から生徒の興味関心を高め、その主体的な学びを進めていく試みがなされていたかどうかと見直す必要があります。新たな理数教育を作り出す大きなチャンスととらえることが必要であると考えます。

終わりに理窓教育会の会員の皆さまにおかれましても、どのようにして「進んで主体的に学ぶ生徒を育てるのか」の課題に取り組んでほしいと願っています。

(私立文華女子中学・高等学校長)

## 東京理科大学理窓教育会 平成 27 年度 総会

### 第1号議案 平成26年度 会務報告

#### 1. 東京理科大学理窓教育会総会

平成26年度は、「書面総会」の形式で実施した。各支部長に下記の事項の議案を送付し、意見等をアンケートの形で回答してもらった（アンケートの集約日は、平成26年6月末）。それを本部で集計し、会報第44号に詳細を掲載して、書面で承認をもらった。

- ① 平成26年度の会務報告及び会計報告。
- ② 平成27年度の活動計画及び予算案。

#### 2. 組織の充実、強化に関して

##### ① 各支部の活動状況（各支部からの報告事項から）

10月25日	北海道支部総会	11月8日	岩手支部総会
10月18日	秋田支部総会	山形支部は理窓会山形支部とともに活動	
11月22日	群馬支部総会	4月26日	茨城支部総会
7月 6日	埼玉支部総会	5月25日	東京支部総会
8月24日	千葉支部総会	8月 2日	神奈川支部総会
10月11日	山梨支部総会	1月24日 (27年)	静岡支部総会
8月30日	富山支部総会	10月18日	長野支部総会
2月22日 (27年)	三重支部総会	岡山支部は活動の推進報告	
9月 7日	広島支部総会	佐賀支部は活動の推進報告	

##### ② 会報発行

第44号 平成26年10月 3日発行  
第45号 平成27年 4月10日発行

##### ③ 副会長・支部長に会の活動状況、理窓教育会規約、副会長・支部長名簿等を送付し組織の活性化を図った。（10月）

#### 3. 大学との連携事業

##### ① 大学「入学前学習支援」事業への協力

「工学部2部の入学前学習支援」の計画に基づき、理窓教育会会員が数学の補充講座を開催した。

#### 4. その他の活動（東京支部主催）

##### ① 新規採用教員予定者激励会（3月7日）

本学を卒業し全国の公立私立学校に新規採用の予定者を招いて激励した。

##### ② 編集委員会

平成26年7月 第44号の発行について  
平成27年2月 第45号の発行について

##### ③ 指導委員会

教育センターが実施する教員採用試験対策講座 [3年生対象(秋) 合宿(3月) 4年生対象(春)] へ講師を紹介した。講義内容検討会(7月)を行った。

キャリアセンター(就職課)が実施する教職ガイダンス [4年生対象(4月) 3年生対象(11月)] 及び面接指導(2次試験対策)への講師を紹介した。

##### ④ 研修委員会

東京都管理職選考第一次選考合格者への面接指導を実施した。

以上

**第2号議案 平成26年度会計報告(案)**  
**平成26年度 会計**

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

**第4号議案 平成27年度予算(案)**  
**平成27年度 予算**

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

**[収入の部]**

科 目	予 算	決 算	比較増減
前年度繰越金	86,027	86,027	0
納入会費	250,000	247,560	-2,440
理窓会正会員協力金	10,000	10,500	500
雑収入・利息他	10	60,015	60,005
合 計	346,037	404,102	58,065

**[収入の部]**

科 目	予 算
前年度繰越金	144,418
納入会費	250,000
理窓会正会員協力金	10,000
雑収入・利息他	10
合 計	404,428

**[支出の部]**

科 目	予 算	決 算	比較増減
交通費	60,000	47,000	13,000
慶弔費	20,000	0	20,000
会議費	2,000	0	2,000
支部長会積立金	0	0	0
事務費	7,000	5,819	1,181
会報印刷費	110,000	130,356	-20,356
郵送費	95,000	76,509	18,491
記念品代	0	0	0
ホームページ更新等	20,000	0	20,000
予備費	32,037	0	32,037
小 計	346,037	259,684	86,353
次年度繰越金		144,418	
合 計	346,037	404,102	

**[支出の部]**

科 目	予 算
交通費	60,000
慶弔費	20,000
会議費	2,000
支部長会積立金	0
事務費	7,000
会報印刷費	130,000
郵送費	95,000
ホームページ更新等	20,000
予備費	70,428
合 計	404,428

※ 納入会費 1,000円×260口 - 口座徴収料金 12,440円 = 247,560 円。

[ 口座徴収料金内訳 130円×68通, 80円×45 通, , 0円×16通 (現金納入等) ]

※ 収入の部「雑収入・利息」欄の60,015円は東京支部会員有志からの寄付金60,000円と利息15円。

※ 会報印刷費支出には、角封筒代19,000円を含む。

※ 支部長会積立金は、次年度の運営を考慮し、予算の通り0円とする。

**※地区別支部長会費会計 平成26年度会計報告及び平成27年度予算(案)**  
**平成26年度 会計**

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

**平成27年度 予算**

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

**[収入の部]**

科 目	予 算	決 算	比較増減
前年度繰越金	931,937	931,937	0
本年度会計より	0	0	0
受取利子	250	336	86
合 計	932,187	932,273	86

**[収入の部]**

科 目	予 算
前年度繰越金	932,273
本年度会計より	0
受取利子	250
合 計	932,523

**[支出の部]**

科 目	予 算	決 算	比較増減
地区別支部長会費	250,000	0	250,000
予備費	682,187	0	682,187
小 計	932,187	0	932,187
次年度繰越金		932,273	
合 計	932,187	932,273	

**[支出の部]**

科 目	予 算
地区別支部長会費	250,000
予備費	682,523
合 計	932,523

会 計：(各担当理事) 齋藤 常男 澁谷 重雄 小林 博

会 計 監 査

監査の結果、正確・適正であることを認めます。

平成 27 年 5 月 11 日 監 査 細川 秀夫 本多 昇 杉浦 雅美

## 第3号議案

## 平成27年度 活動計画案

### 1. 東京理科大学理窓教育会総会

平成27年理窓教育会総会は、「書面総会」方式とする。昨年度と同様に各支部長に議案を送付し、意見等をアンケートの形で回答してもらう。それを本部で集計し、会報第46号に詳細を掲載して、書面で承認をしてもらうこととする。

### 2. 各支部総会

各支部で実施する。実施状況を、会報第47号に掲載する。

### 3. 地区別支部長会

地区別支部長会を実施する。開催を希望する地区の副会長は開催日、開催地等を本部に申し出る。

### 4. 会報発行

第46号、第47号を発行する。

### 5. 財政の健全化に向けて

財政の健全化を期して会費納入者の増加を図る。

会報発送宛先ラベルの右下部に会費納入最終年度の数字を記載し、会員の納入年度の確認に利用しできるようにした。各支部では、本部への年会費（1名あたり1000円）の納入の呼びかけを一層進める。

### 6. 会員の拡大

同窓の教員に会報を送付し、会の活動を紹介し、会員の拡大を図る。

### 7. 大学との協力促進

① 教員希望学生への指導、採用試験等の情報提供については従来通り実施し、多くの後輩が教職に就けるよう協力する。

キャリアセンター（就職課）ガイダンス、面接指導への講師派遣、教育センター講座への講師派遣等の協力をする。

② 東京理科大学維持拡充資金（第二期）事業への協力。

ア. 趣旨に賛同し、その募金活動を継続推進する。

③ 大学の学生募集の協力。

ア. 学生募集広報に協力する。

イ. 第二部推薦入学の広報に協力をする。

④ 公立学校採用第二次選考試験及び私学採用試験対策講座等への面接指導講師派遣に協力。

⑤ ホームカミングデー運営への協力

⑥ 坊ちゃん科学賞の審査・発表会への協力

### 8. 教育管理職受験者支援（東京支部主催）

ア. 管理職受験希望者への研修の、新しいあり方の検討をする。

### 9. 新規採用教員予定者激励会

全国の公立、私立学校教員採用試験に合格した学生を招待し、激励会を開催する。

以上

## 総会 総括

平成 27 年度理窓教育会総会は、昨年度と同様「書面総会」の方式をとらせていただきました。従いまして、議案に対するアンケート形式を採り、全国支部長の皆様の意向を集約させていただきました。

### ◎ 集約の結果

回答のあった支部数 18 (昨年度 20)

1号議案 賛成 18 反対 0 白票 0

2号議案 賛成 18 反対 0 白票 0

3号議案 賛成 18 反対 0 白票 0

4号議案 賛成 18 反対 0 白票 0

① 議案に反対する意見は 0 です。

② 以上、賛成、反対、白票および参考意見を吟味しまして、各議案のすべてをご承認いただいたことにさせていただきます。

以上、平成 27 年度総会は、各支部長等皆様のご協力により、無事終了させていただくことができました。皆様方のご理解とご協りに厚くお礼申し上げます。

ご意見等のあった支部数 0

※いただいたご意見等は 10 月 2 日の定例理事会で検討をする予定です。

## 理窓会 東京支部総会報告 東京支部副支部長 廣瀬 和昭 (48S)

5 月 24 日 (日) 標記総会が理窓教育会と共催で神楽坂キャンパス 2 1 1 教室にて開催されました。総会・報告会・講演会・懇親会にはご来賓の中根理事長、藤嶋学長、向井副学長、森野維持会会長、石神理窓会会長のご出席を賜り盛大に行われました。植木キク子支部長が総会議長となり予定通り議案を処理しました。次に講演に入り今年度から副学長に就任された宇宙飛行士向井千秋先生の「宇宙飛行から学んだこと」という演題で講演をしていただきました。小さい頃は心臓外科医を

夢見て勉強をしたそうですが、救命救急医として勤務していたある日、新聞に「日本人宇宙飛行士募集」の記事を見てすぐ応募しました。宇宙から地球を見ると新しい発想が出てくるかもしれないと思ったそうです。地球上の生き物は重力の中で生きていける DNA を体内に取り込んでいるのだそうです。地球上で当たり前に行っている生活は、宇宙に出てみると無重力での不自由さがよく分かるそうです。向井先生の講演を聞いた参加者は満足顔でした。懇親会にも向井先生は参加され、万有引力を発見したニュートンの話で学生食堂は大盛り上がりでした。

今年はニュートン生誕 350 年でもあり、世界のとっぺんを目指す理科大に相応しい価値ある時間を参加者全員が共有することができました。

## 理窓会 代議員総会報告 理窓会常務委員 小久保正己 (44S)

平成 27 年度理窓会代議員総会が 6 月 28 日 (日) 午後 1 時より神楽坂キャンパス 1 号館記念講堂で開催された。

まず、石神一郎会長より「全国の代議員の皆さん、東京理科大学理窓会の年一回の方針を審議する重要な場である」と挨拶があった。

次に、来賓を代表して中根滋学校法人東京理科大学理事長から「①建学 134 年の道のり ②学校法人統治 ③経営成績。入口と出口は A 評価。理系人材を採用したい大学ベスト 20 で第 3 位になった。④中長期戦略。日本の理科大から世界の理科大へ。大学の評価は卒業生も責任がある。山は登ろうと思わなければ登れない」と挨拶があった。

続いて、石神会長より「まず理窓会の目的と価値について再確認しよう。①大きなコミュニティの形成 ②理窓会の支援活動 ③15 年前受会費の代理徴収。これらのことに理窓会の組織をあげて取り組んでいこう」と力強い所信表明があった。

その後、総会次第に則って議事に入った。それぞれの議案は総会資料を用いて丁寧な説明がなされた。活発な審議がなされた後、全ての議案が満場一致で承認された。

### 理窓会 支部長会報告 理窓会副会長 坂本 功(41S)

理窓会支部長会が6月28日(日)神楽坂校舎1号館17階大会議室で行われた。今年の支部長会は「支部の活動力を強化充実し、活性化を図る」がテーマである。検討資料の回答用紙をもとに、数名の支部長より、支部活動の活性化策の報告があった。

石神会長より「①イベント・会合等の看板名称を東京理科大学理窓会〇〇とする。②理窓会のHPのリニューアル ③TUS Alumni Todayを年4回発行 ④平成28年度から大学が15年前受理窓会費の代理徴収を行う」という4つの報告があった。

支部活動の活性化を目指して、今回の話し合いを踏まえて、各支部でどう具体化に工夫していくかが課題である。

### 「坊っちゃん科学賞研究論文 コンテスト」について 実行委員長 坂本 功(41S)

「坊っちゃん科学賞研究論文コンテスト」は今年で7回目を迎えます。5月に全国約2000の高等学校に応募案内を発送しました。また理窓会のホームページでも、応募要項や過去に受賞した高校や研究題目が見られます。

今年度の応募論文は159本でした。9月5日に物理、化学、生物、地学、数学、情報、その他の分野に分かれて31名の理窓教育会の先生を中心に分野別審査を行いました(写真は審査の様子)。そこで優秀賞の候補の論文を選定し、9月11日に10名の大学の先生により優秀賞の高校5校を決めました。この選ばれた5校が10月25日のホームカミングデー当日、プレゼンテーションを行います。秋

山仁先生が審査委員長になり発表会の審査を行い、晴れの最優秀賞の高校が決定します。

その後、応募研究論文を全て掲載した作品集を作成する予定です。



### 岡山支部 設立総会報告 支部長 三浦康男(46 理工・数)

○平成27年7月25日(土) 17:30～  
出席者 12名

○開会(支部長挨拶)

・昔から岡山支部は、教育関係者の参加が多かった。理窓教育会岡山支部を創設し、いろいろな面で母校の発展等に協力したい。

・理窓教育会には、別紙のような規約がある。目的にもあるように、岡山の教育界における同窓の資質向上、会員相互の親睦をこの会設立の目的としたい。

○協議

岡山支部の今後の活動内容

- ・年に1度、総会を開催する。
- ・会員相互の研修の会を計画する。
- ・こうよう会岡山県支部と連携して、岡山県における教員志望者の援助をする。具体的には教員志望者との懇談等が考えられる

○その他

- ・理窓教育会岡山支部の名簿の配布。
- ・本部からの祝電の披露。資料等の配布。

○歓談・情報交換

- ・1分間スピーチと情報交換、歓談

なお、支部長は三浦康男が理窓会支部長と兼務することになった。

## 新任教員の抱負

### 麻布学園（麻布中学校・麻布高等学校）

#### 教諭 井村 俊也（平 25 理・科学教育研）

私は平成 25 年 3 月に科学教育研究科を修了し、同年 4 月より麻布学園の数学科教員として就職しました。本校は私立の中高一貫の男子校で、間もなく創立 120 周年を迎えます。ここ数年で職場全体の世代交代が大きく進み、若さと活気に満ち溢れています。

就職して 1 年目は驚きの連続でした。例えば、本校では自治活動をめぐって生徒間や対教員での議論が日常に行われており、特に生徒主導で全校集会を開き、生徒側の意思決定を行う様子には一種の感動すら覚えました。また、私が顧問を務めるソフトテニス部では自主・自立を伝統としており、日々の練習から合宿まで部の運営すべてを生徒が行い、必要以上に大人の手を借りるなどもってのほかであるといわんばかりです。このような生徒たちの姿を頼もしく思うとともに、創立以来培われてきた自由闊達な校風の賜物だと実感しています。

そんな驚きの連続であった 1 年目を終え、現在私は中学 2 年生の正担任をしております。進学校だからといって素直で真面目な生徒ばかりではありません。学校を無断で欠席する生徒や生活リズムを崩し始めた生徒、成績不良の生徒がいれば面談を重ね、日頃の学習指導・生徒指導に徹しています。他にも正副担任と生徒との親睦を深めるために、夏休みの終わりには生徒と企画して 2 泊 3 日のクラス旅行を実施するなど学級運営に努めています。また本校では指導内容の決定を担当教員の裁量に大きく委ねられており、カリキュラムや指導方針について日々議論しながら、教材の作成を行い授業に臨んでいます。意欲的な生徒には中等教育の範疇を超え、大学レベルの話をすることもあります。最近では日本ジュニア数学オリンピックに挑戦する生徒を対象に、放課後の演習も行っています。

教員は生徒以上に学び成長していかなければなりません。これからも各種研究会に参加するなど、研鑽を重ね、精進したいと思います。

### 船橋市立坪井中学校

#### 教諭 荒川 友梨（平 23 理・数）

「3 年間ありがとうございました！」

教師になって 3 年目の年度末、卒業式でその言葉を聞いて、先生になって良かったと改めて実感しました。

3 年前、初任で赴任した学校で 1 年生の担任となりました。有難いことに、3 年間その学年のまま持ち上がらせていただき、昨年度初めての卒業生を出しました。講師経験もなく、大学を卒業してすぐに教員になった私にとって、この 3 年間は本当にたくさんのことに気付かされた 3 年でした。

大学の時に想像していた“学校の先生”はとても大変なものだとわかっていたつもりでしたが、実際はそれをはるかに上回るほど大変でした。思っていた以上に生徒は色々な考えを持っていて、対応に困ることがたくさんありました。その度に、私には向いていないのではないのかなどと考えました。でもそれは経験の浅い私にとっては当たり前なことでもあり、経験を積み重ねながら勉強していけば良いことなのだと今になって思います。また、うまくいかないことがあっても、真剣に生徒のことを考え向き合っていけば、必ず気持ちは通じるということを、卒業式の時に感じることもできました。

先生という職業は、生徒の人生に関わることができる素敵な職業であり、その分責任の大きい職業でもあります。私が関わっている中学生はとても不安定な時期であり、こちらの一挙一動で生徒の気持ちも左右されると思います。先にも書いたように、うまくいかないこともたくさんあります。しかし、いつも笑顔をくれ、私に色々なことを学ばせてくれるのは生徒です。そして、真摯に向き合ってきた生徒たちと卒業式を迎えた日の感動は、思っている以上のものです。そんな素晴らし

い経験をさせてくれる生徒のために、これからも更に精進してまいりたいと思っています。

## 東京都立葛西南高等学校

### 教諭 川口 拓也(平 24 理・数 2)

私は、平成 24 年 3 月に東京理科大学理学部第二部数学科を卒業し、現在は都立葛西南高等学校定時制課程に勤めています。

現在、私が教員になれたのは、在学時に教員採用試験対策をはじめ、教職課程指導室の先生方の支えがあったからだと思い改めて感謝しています。

さて、勤務校の定時制に入学する生徒ですが、様々な理由を抱えています。全日制高校を志望しながらも不本意入学の生徒、中学校時代、様々な理由から登校できず、改めて高校で再チャレンジする生徒、高校を以前に退学し、もう一度学校に通い勉強したい生徒などがいます。

私は、現在、1 学年の学級担任をしています。はじめは、担任の立場で生徒とどのように関係を築き、クラスをまとめることができるかどうか不安でした。しかし、5 月の体育祭、9 月の遠足での飯盒すいさん、10 月の文化祭などの行事を通して、クラスに一体感が出て来ています。また、担任として、学校生活を互いに過ごすことで、生徒との距離が近づき、様々な悩みや心の痛みを少し理解出来たと思います。いまでは、生徒たちと一番近いところで向き合い、充実した毎日を過ごしています。

教員一年目のため、自分の思い描いた通りにいかず、まだまだ力不足を感じることも多いですが、学校の先生方に支えられて、楽しく仕事をしています。今後も、教員として、常に謙虚な気持ちを忘れずに、生徒、保護者等に信頼される教員を目指し、一人前の教員となるため、職務に邁進していきます。

## 千葉県立君津青葉高等学校

### 教諭 小松 令奈(平 26 基礎工・生物工)

私は平成 26 年 3 月に基礎工学部生物工学

科を卒業し、4 月から君津青葉高校に勤務しています。君津青葉高校は、君津市の久留里にあり、とても自然が豊かです。学校には田んぼがありドジョウやザリガニがいます。道路には時折サルの群れが横断し、タヌキやイノシシがでることもあるそうです。総合学科の高校で、環境や農業、食品、生活、文理、情報ビジネス、土木工学の 5 系列 7 つのコースで学習することができます。詳しくは、本校のホームページそして県のホームページの県立学校名簿に掲載されている、私が作成に携わった「1 校 1 キラマップ」をご覧くださいけると嬉しいです。

生まれ育った柏から久留里に来て、始めは大変戸惑いました。しかし今では、学校・地域を含めた私の周りの環境が私自身を優しく包み込んでくれているのを実感しています。アパートの大家さんは私のことをとても気にかけてくれ、ご飯を分けてくださることもあります。また、地元の夏祭りや久留里城まつり、駅前のイルミネーション点灯式などにも参加させていただきました。学校では、先生方が温かく声をかけてくださり、授業や分掌の仕事についてたくさんの事を指導して下さいます。授業は、板書だけではなく、学校の自然を活かした野外観察や体を動かす実験などを取り入れています。おもしろいものを見せたい、楽しいと思ってもらえたらいいなと思っています。毎回、授業内容と関連した実験を考え、準備するのは時間がかかりますが、生徒が喜ぶ顔を想像しながら作るので楽しいです。

まだ未熟ですが、周りの方々のおかげでなんとか前に進めています。教員生活は始まったばかりなので、慌てずに先を見据えて、頑張るべきところに時間を惜しまず、自分のできることを少しずつ増やしていきたいです。

## 神奈川県立希望ヶ丘高等学校

### 教諭 池田 優太郎(平 26 理・総合化学研)

私は平成 26 年 3 月に東京理科大学大学院、総合化学研究科を卒業し、4 月から希望ヶ丘高校に勤務しています。希望ヶ丘高校は神奈



川島の最初の旧制中学校として設置され、今年で創立 118 年を迎えた伝統校です。「自律自制」「自学自習」「和衷協同」の 3 つを教育目標の根幹にして、生徒の自主性を尊重する「文武両道」の高等学校です。文化祭などの学校行事や部活動も生徒主体で運営していきます。私は勤務して 2 年目になりますが、初任者として初めて学校に訪れた時は「本当に生徒たちだけでできるのか」と少し疑った気持ちをもっていました。実際に 1 年間見ていくと、本当に生徒が主体となって活動して互いに意見を出し合い、注意を呼び掛け、楽しく活動していました。自由な校風の中で活動する彼らを見て、自分も一緒に活動したくなる、そう思わせるような生徒たちが希望ヶ丘高校の生徒です。

私は現在 3 学年の副担任を勤めていて、進路指導を担当しています。進路指導を担当して 2 年目になりますが、2 年目になって変わったことは、生徒との面談がかなり増えたことです。クラス、部活の生徒を問わず多くの生徒が相談に来てくれるようになりました。「先生、ちょっと話聞いてくださ〜い」といってよく職員室に来てくれます。必ずしも進路の話とは限らず、友人のこと、部活のこと、家族のことなど本当に様々です。教員といえば「生徒のためになる指導(助言)をする」という意識が強いですが、私がこのとき注意しているのは“聞き役に徹して指導(助言)はしない”ということです。そうすることで生徒が話したいことを気軽に思う存分話すことができるからです。生徒との距離は近くなりますが、生徒と面談をしていくうちに信頼関係を築くことができ、生徒たちが普段どのようなことで悩んでいるかわかるので、日頃の生徒指導や授業で生徒の実態を踏まえた行動をとることができます。

まだまだ未熟者ですので、失敗することも多くたくさんありますが、その分得ることもたくさんあります。生徒や先生方と過ごす学校は本当に楽しくて、毎日笑いが絶えません。これからも自分なりに元気に精一杯がんばっていかうと思います。

## 北海道富良野高等学校

### 教諭 金澤 隆裕 (平 22 理・数 2)

東京理科大学を卒業して 5 年が経とうとしています。大学を卒業してからは生まれ育った北海道で教員をしています。ただ、昨年度までは教員採用試験に合格することができず、期限付き教員として 4 年間で 3 校勤務しました。期限付き教員では 1 年経ったら勤務する学校が変わっていたので、学校の仕組みや生徒を理解するのに時間はかかりました。しかし、この 4 年間教師としてのイロハを学べたとともに、たくさんの生徒とふれあう機会が多く接し方や信頼関係の大切さも学べました。そういった経験ができたことで教員採用試験に合格することができ、平成 26 年 4 月 1 日より北海道富良野高等学校で正規教員 1 年目をスタートしています。

富良野高校では、今までの経験を活かしながらも学び続けるという姿勢を忘れずに生活しています。新しくおこなう仕事も多く慌ただしい生活を過ごしています。

数学の授業についても生徒に学ぶことの楽しさ・挑戦することの楽しさ・わかることの楽しさを実感できるような授業を心がけています。ですが生徒は数学に対する拒否感があり、挑戦する前からあきらめる生徒もいました。その時は、大学で学んだことを思い出し、基礎・基本を確実に定着させることに努めています。教師は授業が命です。自分にとっては 2 回目の授業でも、生徒にとっては初めて学ぶ内容なので常に興味をもってもらえる教材研究に励んでいます。

今私は同じ学校で数年勤務する楽しみがあります。それは、生徒の成長するところを見ることができるからです。1 年間で学校が変わると、1 年間の成長は見られましたがその教えていた生徒が卒業する姿が見られないもどかしさがありました。正規教員になることで、一人の生徒が入学してから卒業するまでの過程をみられる楽しさがあります。

高等学校は「社会の入り口」といわれます。この先も社会を生きていける力を身に付けられるような生徒を育てていきたいです。

## 練馬区立小中一貫教育校大泉桜学園中学校

### 教諭 正覚 真紀 (平 25 理・数)

「生徒達は落ち着いているので生徒指導が少ないです。生徒の心をつかむには授業力が必要です」はじめて学校に行った3月末、副校長先生の口から出た印象的な一言でした。

私が中学校の教員を目指したきっかけは、中学校の恩師との出会いでした。中学2年生のころ、成績がなかなか伸びず悩んでいた私に担任の先生が「自分を見失わないようにね」と言ってくださったことで私は救われました。わかるまで丁寧に説明し、私の話に耳を傾けてくれた先生の後ろ姿をみて「私もこんな大人になりたい」と思ったことが教員を志すきっかけになりました。そのこともあり、生徒指導だけでなく教科指導にもしっかりと力を入れなければいけない、という言葉はとても私の胸に響きました。

緊張して迎えた4月1日の朝、「おはようございます」という元気の良い生徒の声を聞き、「ああ、教員になって学校で働けるのだな」と実感しました。中学校の教員になりたいと思い立ってから8年、やっとスタート地点に立てたと思いました。

平成 25 年度の教員採用試験では1次試験不合格。次の年は私立獨協中学高等学校と東久留米市立中央中学校で講師をしました。平成 26 年度の教員採用試験では無事合格し、正規の教員として今年から教壇に立つことができています。

学校の現状としては、とても落ちついた学校です。そのため、その中で私自身が生徒のために何ができるのか、しっかり考えて行動していかなければいけないと強く感じています。学校の経営方針と教育計画について4月の最初に校長先生からお話がありました。話の中でも特に印象に残ったのが人権教育についてです。学校にはさまざまな状況の生徒がいて、その背景を考えた上でやっていかなければいけません。思った以上に教員の責任は重いですが、生徒一人一人と向き合い、関わっていく毎日はとても充実しています。

わからないことは先輩の先生方が教えてく

ださり、管理職の先生方も親身になって話を聞いてくださいます。教科の指導教官の先生もついて授業や試験作成のアドバイスなどもしていただけるので、とても仕事がしやすいです。校務分掌といて授業や学年の所属以外にも仕事の割り振りがあり、私は特別活動に入っています。そこでは生徒会担当として動くことが多く、生徒と試行錯誤しながら行事の裏方やボランティアなどを行いました。ちょうど9月で前期の生徒会の任期が終了したのですが、子ども達が「達成感を感じている」「やってよかった」という言葉がこれからの私の励みになりました。

教員の仕事に終わりはありません。なかなか思うようにいかず悩むこともあります。日々悩みながらも子どもたちとともに私自身も成長して頑張っていきたいと思います。

## 千葉県市川市立第七中学校

### 教諭 吉田 有希 (平 26 理・数 2)

今、私は教師になって良かったと考えています。それは、公私関係なく、自分が辛いとき、生徒がいつも変わらない明るい笑顔を見せてくれたからです。生徒が笑ってくれると、どんなに辛くても私も自然に笑うことが出来ました。何度そういった笑顔に助けられたのかわかりません。

また、職場の仲間にも恵まれたからです。今日までを振り返ると、仕事で失敗をして辛いとき、常に指導して下さる先輩方が側に居て、やってみて駄目ならフォローして下さる体制ができていました。そのおかげで、私は沢山のことに挑戦し、失敗させて頂き、学ぶことが出来ました。また、よく笑える職場であったからです。職員室で話せば辛いことは半分になり、嬉しいことは倍になります。尊敬できる沢山の先輩方の側で勤務させて頂いています。また、他学年の先生方とも時折、お話をさせて頂くことで、異なる角度からの考え方も学ぶことが出来ます。

私は、明るく素直で心優しい生徒に恵まれ、職場の仲間にも恵まれ、そして市川市立第七中学校という市内でも指折りの施設を持つ学

校で勤務させて頂いています。今日まで、手探り状態でやってきて、沢山の先生方や生徒、保護者の皆様にご迷惑とご心配をお掛けしてきました。それでも、これでは駄目だと指導して下さる先輩や、提出した書類に赤で沢山の修正を加えて下さる先輩がいらっしやっただので、そのたびに頑張ろうと思うことができました。そして何より、生徒に「先生、あのね」と笑顔で声を掛けられる瞬間をととても嬉しく思います。

まだまだ教師としても、人間としても未熟で迷ってばかりです。実際、私が生徒に教えたことより、生徒から教えてもらったことの方がはるかに多いです。それでも、そのとき自分の持っている最大限の力で、対応してきました。そして、それはこれからも変わらないと思います。常に全力で、教師としての生活を送っていきたくと考えています。

## 江戸川区立葛西中学校

### 教諭 中村 真理 (平 27 理・数理情報)

私は平成27年3月に理学部数理情報科学科を卒業し、4月から江戸川区立葛西中学校で中学1年生の副担任として勤務しています。葛西中学校は私が思っていた以上に落ち着いており、入学式をはじめ、始業式や朝礼など全校生徒が集まっても話し声は一切聞こえず、先生の話をよく聞く生徒たちです。先日は運動会もあり、暑い中練習の成果を發揮し、いきいきと競技に夢中に取り組んでいる生徒たちのたくましい姿に感動しました。

良い生徒たちに恵まれて、授業も落ち着いた環境の中で進めることができます。その中でも1年目の私にとっては課題がたくさんあります。大学時代4年間での塾講師の経験が生き、教えることだけに関して言えばそれほど苦労はしていません。しかし、各クラスのレベルの把握や個に応じた対応、補助プリントの活用や評価について等多くの課題に毎日ぶつかっています。どのような授業をすればいいのか、先輩教諭に教えていただきながら、試行錯誤しています。生徒にとって『わかる授業』とは何なのか、実際に教壇に立つ

ことで多くのことを考えさせられています。

部活動ではソフトテニス部の主顧問を任せ、日々の活動に励んでいます。4月初旬は新顧問の私のやり方に戸惑う生徒たちが多く、上手いかず悩む日々もありました。しかし周りの先生方に話を聞いていただいたり、他の学校の部活動を見学させていただいたりする中で少しずつ私自身がどのような部にしたいのか定まってきました。また時間が経つに連れ生徒たちとの信頼関係も築け、部の躍進に向け、新たな試みをしている毎日です。

今はまだ、周りの先生方に助けられてばかりですが、ひとつずつ自分のできることを全力で行い、前向きに焦らず、一人前の教諭になれるように頑張っていきたいです。教諭という私にとって【天職のスタート】を切れたことに誇りを持って、将来も生徒たちとずっと向き合っていきます。

## 八千代松陰高等学校

### 教諭 藤井 平馬 (平 24 理・数)

「先生、教えて下さい。」この言葉を口にするのは、生徒だけではないのだと強く実感しました。

私は赴任して2年目になります。現在、高校2年生のクラス担任をしていますが、クラス運営、進路指導など、あらゆることを先輩教師から学んでいます。また、私自身「良い授業」や「良い先生」について常に考えて日々を過ごしています。教師としての指導に絶対的なマニュアルがあれば良いのにと考えることもありますが、生徒という人間を相手にする上でそのようなものはないと思い直します。

赴任して1年目、先生と呼ばれることに新鮮さを感じながら初授業に臨みました。48名という大人数の教室へと入った時の印象は強く残っています。今でも授業でふと「ああ、生徒に数学を教えているんだ。」と喜びを感じることがあります。先輩の授業を見学したり、自分の授業で失敗したなど思った時は相談しに行ったりと、1年目は授業力を向上するために時間を割きました。生徒の実態が分

かるようになってからは、自分なりに授業方法を色々変えて実践しました。もちろん失敗もありました。今は「ペア学習・グループ学習」を研究して、授業の質の向上に努めています。

2 年目で初めて担任を持って、さらに学ぶことが多くなりました。生徒一人ひとりの名前を覚えることから始まり、朝必ず 1 番に来て黙々と自習をする子、勉強は苦手でも黒板の掃除を一生懸命にやる子など、生徒は十人十色であると感じています。生徒と会話していると、時には生意気で失礼なことを言ってきたりしますが、学校生活の中で 1 番楽しい時間です。来年は持ち上がりで高校 3 年生の担任を持つ可能性があるので、その時に備えて今は進路指導の勉強をしています。

教師は人に教えるというイメージが強かったのですが、むしろ生徒と一緒に学んでいく職業なのだ実感しています。自分の力で行動できる生徒を育てるために、教師としてしっかりと支えてあげたいです。

## 千葉県立袖ヶ浦特別支援学校

教諭 石田 美紀 (平 26 理・化 2)

私は大学を卒業した年の 4 月から、千葉県立袖ヶ浦特別支援学校に勤務しています。袖ヶ浦特別支援学校には肢体不自由・病弱の児童生徒が在籍し、その中でも知的障害との重複障害のある児童生徒が多数在籍しています。また、千葉リハビリテーションセンターやこども病院が隣接しており、児童生徒の転出入が多いのも特色です。

特別支援学校の教員の多くは、自分の専門教科以外の教科も担当しています。私も高等部で理科を教えながら、職業という授業の手工芸班を担当したり、他の教科の補助に入ったりしています。また、特別支援学校には自立活動があります。私はその中で特に「できないことを、補助具を使うことでできるようにする」ということに感銘を受けました。例えば、顕微鏡の調節ねじの操作が困難な生徒に対して、接眼レンズにスマートフォンをカメラモードにして固定し、タッチパネル操作

で倍率を上げて観察できるようにする、ミシンで雑巾の×印を縫う際にはミシンと自分の間にミシンと同じ高さの台を置き、その台に矢印を書いて直線に縫えるようにする、などがあります。生徒ができないことに対して少し視点を変え、ほんの一工夫加えるだけでもできるようになることはたくさんあります。それは特別支援学校のみならず、どの学校においても通用すると考えます。大人でも同じだと思います。

教員採用試験の面接で「中学校・高等学校で勤務する前に、グレーゾーンと呼ばれる子ども達への支援方法を学びたいから特別支援学校に勤務したい」と伝えました。その結果、学んだことは多いですが、自分のやりたいことができないことや違和感も多く、面接での発言を後悔することが多々あります。しかし子どもの何気ない一言や、話に込めた思いを子ども達が理解してくれたとき、子どもの成長が見えたときには前向きな気持ちになり救われます。毎日葛藤しながらも、子ども達から多くのことを学び続け、私自身も成長していきたいです。

## 茨城県立波崎高等学校

教諭 大久保 宇悟 (平 26 理・総合化学研)

私は現在、茨城県立波崎高等学校にて、理科の教員をしています。今年が二年目となり、普通科の一年生クラス担任を務めています。また、部活動では空手道部の顧問を務めており、未経験の競技なので、日々勉強しています。元気な生徒達に囲まれ、毎日のように新たな問題にぶつかり続ける目まぐるしくも充実した毎日を送る事が出来ているのですが、気持ちが折れそうになり、忙しさから辛く感じる事もあります。そんな時に、教員として戦い続けるために自分の中で支えになる力は、大学で多く養われたと感じています。授業をする際に武器となる知識や技術、また創造力といった力は、大学と大学院での勉強や研究活動がもとになっています。毎日研究室に通い、うまくいかない反応に頭をかかえながら実験して身に付けた技術と、必死に勉強

して得た知識は、現在生徒達に伝えるための非常に良い経験となっています。また、大学四年間在籍した硬式庭球部では、三キャンパス（神楽坂・野田・久喜）の仲間達が週末に集って、練習の度に自分達を追い込み、勝つためにチーム一丸となって精一杯努力しました。決して良い思い出だけをしてきたわけではありません。しかし、その思い出一つ一つが今の自分を支える力となり、かけがえのないつながりを残しています。私は、大学に東京理科大学を選んだ事、化学科を選んだ事、また大学院まで進学して有機化学の研究室で勉強する事を選んだ事、大学でも夢中になって部活動に取り組んだ事、これら一つ一つが大正解であったと確信しています。そして、この場をお借りして、自分がそのように感じるように指導して下さった、これまでお世話になった先生方、先輩方、同期、後輩達に感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。ありがとうございました。私はこれから、自分がいままでに頂いたものを、目の前にいる高校生達に還元していきたいと考えています。そしてその生徒達が社会に出て活躍してくれたら一番に嬉しく思います。

## 管理職への昇格

平成 27 年度の人事異動で、多くの同窓生が管理職に昇任されました。心からお祝い申し上げます。

### 【秋田県】

長岐康彦 58 理工数 秋田市立御所野学院高校長

### 【埼玉県】

宍戸 隆一 44 理数 私立開智高等学校長

坂上 節 59 理工数 県立松伏高等学校長

関 俊秀 60 理化 川越市立川越高等学校長

鯨井 智巳 13 理工数 県教育委員会管理主事

### 【千葉県】

堀 眞樹 61 理数 2 県立柏中央高等学校頭

藤崎俊浩 63 理数 県立成田国際高等学校頭

### 【神奈川県】

川津正己 60 理化 2 県立白山高等学校長

柏木信一郎 59 理応数 県立藤沢工科高等学校副長

會田 勉 H1 理数 県立南陵高等学校頭

樋口一孝 62 理工応生 県立上溝高等学校頭

### 【岡山県】

仁科 康 55 理応数 倉敷市立東中学校長

正保雄策 58 理数 岡山市立操南中学校長

萩原康正 59 理工数 県立備前緑陽高等学校長

赤松一樹 60 理応数 県立天城高等学校頭

### 【東京都】(管理職選考試験合格者)

(校長選考)

加藤竜吾 62 理数 2 都立東村山高等学校

(B 選考 副校長選考)

武石 理 H1 理工情 江戸川区立瑞江第三中学校

植木 俊孝 60 理数 2 小金井市立第一中学校

以上、名簿到着の都道府県のみ掲載です。

東京は管理職選考試験合格者です。

## 同窓の活躍

「心して 育てよ 日本の子供らを」

前神奈川県立総合教育センター

企画調整部長 杉坂 郁子 (54S)

神奈川県立総合教育センターの正面玄関の壁には「心して 育てよ 日本の子供らを」という言葉が刻まれています。これは、センター創設に心魂を傾けられた内山岩太郎元神奈川知事の言葉です。

## 50 周年を迎えた総合教育センター

昨年、総合教育センターは創立 50 周年を迎え、11 月 3 日に創立 50 年式典が開催されました。式典をはじめとする創立記念事業の実行委員長を務めさせていただき、改めてセンターの伝統と担ってきた役割の大きさを実感しました。

設立された昭和 30 年代後半は、高度経済成長に伴う経済・社会の急速な拡大、ベビーブーム世代への対応、教育の量的拡大が進んだ時代であるとともに、スプートニク・ショックに端を発する科学教育の振興が求められる時代でもありました。

式典には 10 名の歴代所長のご臨席を賜り

ましたが、その中の 3 名は東京理科大学の先輩方であり、理科大が神奈川の教育に大きく貢献してきた歴史を感じずにはおれませんでした。

記念講演では、東京理科大学教授の秋山仁先生に「子どもの数だけ夢があり、夢の数だけあす（将来）がある」という演題でご講演をいただきました。式典後の懇親会ではアコーディオンと歌をご披露いただき、列席された方々から大好評を得ることができました。50 年の節目に立ち会えた光栄を胸に、時代の変化に応じた新たな取り組みへの思いを強くしました。

### 更なる効果的な教員研修を求めて

総合教育センターは「優れた教育人材の育成」「学校を支援する調査・研究の実施」「県民や学校のニーズに応える教育相談の実施」を 3 つの柱とし、神奈川の教育の発展に努めています。

特に教員の質の向上が強く求められている現在、教員研修の充実は最も大きなセンターのミッションの一つです。センターに教育事業部長として着任した年度には、経験年数に応じた研修について、その体系、内容等について、さらに効果的なものにするべく見直しを行いました。

見直しにあたり、各方面のご意見をお聞きするために校長会の役員会等を回らせていただきました。その折にも理科大の同窓の方々のお顔があり、適切なアドバイスやご意見をいただき、心強さとともに、それぞれの現場でもご活躍の様子を伺うことができました。

### 開かれた総合教育センターへ

私は総合教育センターに勤務する前、県立青少年センター科学部長の職にありました。

科学部は小中高の理科の教員と天体分野のプロパーの職員で構成されています。私は理科でなく数学が専門ですので、実はそれぞれの分野の深い内容は詳しくありませんがマネジメントの立場から科学部の目標を「神奈川に理科好きな子どもたちを増やす！」と決めました。

県内の大学と連携した科学イベントも立ち

上げましたがその際、大学を訪ねた折も理科大の先輩方がここかしこで活躍されており、本当に助けていただきました。

話を総合教育センターに戻しますが、センターの企画調整部長は、広報関係の仕事も管轄しています。そこで私は県立青少年センター科学部とのコラボを考えました。

藤沢市にある総合教育センターは、教育関係者にとってはたびたび訪れる場所ではありますが、近隣の方々には馴染みがありません。「近所に大きな建物があるが、何をやっているところだか？」という声を聞くこともあり、馴染みがないせいで理解しづらく、小さな事でも近隣からの苦情に繋がることもありました。

そこで青少年センター科学部で行っていた「子どもサイエンスフェスティバル」の藤沢大会を総合教育センターで行うことを発案しました。JAXA をはじめ様々な科学施設、大学等のブースが出展し、毎年 1000 人を超える来場者で賑わいます。県民の方々がセンターを訪れ、その掲示物なども目にする事によって「学校の先生方もここで勉強しているんだ」ということを知ってもらう機会にもなったと思っています。

### これからの教員に夢を託して

私は、今年の 3 月に県を退職し帝京大学で教えています。所属は短期大学の教授ですが、実際教えているのは教員を目指す学部生と教職大学院の学生が主です。

今まで、養成は大学、採用や研修は教育委員会とはっきり分けられていましたが、これからは、それぞれ乗り入れ連携する時代が変わってきています。

私は、中学校教員、高等学校教員、高等学校管理職、行政職と様々な職を経験してきました。その時々、いつも同窓の方々が出て、助けていただきながらやってこられたと感謝しています。今までの経験をフルに生かして、これから教員を目指す学生を丁寧に育てていきたいと考えています。

## 大学との連携

(460B) 榎本 成己

### 1 教員採用試験対策講座【直前対策コース】

今年度新たに組織改編になった教職教育センターが主催し、3月28日、3月29日、4月5日、4月12日、4月19日、6月26日に実施しました。内容は、教育課題、専門教養、論作文を中心に24コマです。さらに、5月10日、5月31日に論作文と専門教養の模擬試験を実施しました。理窓教育会の先生方16名が80名程の学生を精力的に指導しました。

なお、理科実験問題対策として6月27日、さらに一次試験集団面接対策として7月4日に特別な対策講座を実施しました。

### 2 工学部二部ウォーミングアップ講座

本年度も理窓教育会が工学部二部より依頼を受けて、入学前の集中講義を行いました。4月初めの2日間、理窓教育会の会員が約300名の新生に二次関数から微分積分を演習形式で行い、そのあと達成度評価試験を実施しました。

### 3 教員採用試験第二次試験対策講座

教員採用一次試験を受験した学生を対象に、二次試験対策講座を教職教育センターが企画し、理窓教育会の先生方が講師となり8月8日から9日にかけて実施しました。

東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県、その他に分かれ模擬授業、場面指導、集団・個人面接等を行いました。受講したのは熱心な学生達ばかりで、成果が期待されます。

## 事務局より

### 1 理窓教育会事務局について

理窓教育会事務局は PORTA 神楽坂 7 階の理窓会事務室内に置かれています。

ただし、理窓教育会事務局専属の事務員がいるわけではありませんので、ご連絡は郵送でお願いいたします。

なお、お急ぎの場合には、2 の支部長等の

連絡窓口にご連絡ください。

### 書面での連絡先

〒162-0825 新宿区神楽坂 2-6-1

PORTA 神楽坂 7F 理窓会事務所内  
東京理科大学理窓教育会 宛

### 2 支部長等の連絡窓口

教職課程指導室 小久保正己（編集担当）

TEL 03-3260-4271 内線 2780

FAX 03-3260-1776

[メール kokubo@rs.kagu.tus.ac.jp](mailto:kokubo@rs.kagu.tus.ac.jp)

### 3 理窓教育会ホームページ

「理窓教育会」と入力すると、開きます。「東京理科大学理窓会」のホームページの中に「理窓教育会」のものがああります。

ホームページアドレスは次の通りです。

<http://risoukai.com/educ/>

(編集後記) 第46号をお届けいたします。

昨年度からスタートしたグローバルサイエンスキャンパス(GSC)は2年目を迎え、ますます充実した取組が行われています。27年度の基礎コースの受講生は62名です。また、26年度の基礎コースを修了した受講生のうち二次選抜試験に合格した20名が発展コースの受講生として、学内の研究室でそれぞれの研究課題に取り組むとともに、さらに、海外研修(ドイツ・キール大学)に参加します。

こうした事業を推進するためには、意欲ある高校生を推薦し継続的に支援していく高校の協力が不可欠です。

またサイエンスリーダーズキャンプ(SLC)は理数教員のリーダー研修で、27年度は生物の教員を対象に充実した研修となりました。28年度は化学の教員が対象です。同窓教員にぜひ受講してほしい研修です。

さて、嬉しいニュースは、理窓教育会岡山支部の設立総会が7月25日(土)に開催されたことです。出席者は12名で、三浦康男(46理工・数)さんが支部長になりました。理窓会岡山支部長との兼務です。岡山支部の皆様のご発展を祈念いたします。

#### 4 会費納入状況

下記の表の通りです。平成 27 年度は 8 月 31 日現在の納入数です。ゆうちょ銀行などの「サービス料金・手数料の改定」により、払込み料金が窓口料金は 130 円(5 万円未満)となりましたが、ATM 料金はこれまで通り 80 円(5 万円未満)です。**今後の会費払込みにつきましては、できるだけ ATM で行ってくださるようお願いいたします。**

今後とも会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、郵便払込取扱票の口座番号などは、次の通りです。

(口座番号) 00160-9-715349 (加入者名) 東京理科大学理窓教育会

(会計統括理事 (46B) 齋藤 常男)

理窓教育会 支部別会費納入数									
県名	24年度	25年度	26年度	27年度	県名	24年度	25年度	26年度	27年度
北海道	3		1		滋賀				1
青森	1	1	1	1	京都				
岩手	4	4	3	2	大阪				
宮城	1	2	5	1	兵庫	1		5	
秋田	21	14	16	20	奈良	5	5		
山形		1	1		和歌山				
福島					鳥取		1	2	4
茨城	3	4	7	3	島根				
栃木	1	2	1	1	岡山				12
群馬	2	2	2		広島	30	27	24	
埼玉	42	37	46	31	山口	1	1	3	2
千葉	30	30	34	31	徳島				
東京	90	64	67	54	香川				
神奈川	6	12	7	9	愛媛				
山梨		1	1	1	高知	1	1	1	1
長野					福岡	1	1		
静岡	14	18	16	14	佐賀		3	1	1
愛知	3	1	3	1	長崎	1	1	1	1
岐阜	1	1	1		熊本				
三重	1	1	1		大分				
新潟	1	1	1	1	宮崎	1			1
富山	9	7	8		鹿児島	2	1	1	
石川					沖縄				
福井					小計	43	41	38	23
小計	233	203	222	170	合計	276	244	260	193

平成27年度は8月31日現在です。